

高知県公立大学法人第2期中期目標（H29-34）策定に向けた視点

（H28.2.16 第20回評価委員会資料抜粋）

第2期中期目標・中期計画の策定に当たっては、次の視点（ポイント）を重視して策定する。

①地域に開かれた知の拠点として教育研究を行い、その成果を社会に還元する

- ・前文（P.1 1～3行目）

②県民の期待に応える魅力的な大学づくり（地域協働の推進、学び直し機能の強化など）

- ・学び直し機能の強化（県立大＝P.3・カ、工科大＝P.4・カ、共通＝P.6（3））
- ・地域協働の推進（P.6（1））

③県の施策との連携（産学官民連携の推進、地方創生の推進、若者の地方定着など）

- ・若者の地方定着（県立大＝P.3・エ、工科大＝P.4・エ）
- ・産学官民連携の推進（P.6（2））

④法人統合の効果・メリットを最大限活かす（ガバナンス改革、経営基盤の強化など）

- ・大学間連携に関する目標の新設（県立大＝P.3・キ、工科大＝P.4・キ）
- ・ガバナンス改革、経営基盤の強化（P.7 第3・1）
- ・法人統合の効果に関する目標を新設（P.7 第3・2）

⑤これまでの各年度の評価における、課題への対応（計画項目の重点化など）

- ・中期目標の項目数の削減（64→38項目）